

令和3年 3月 8日

保護者 様

藤枝市立藤枝中央小学校  
校 長 新村 和彦

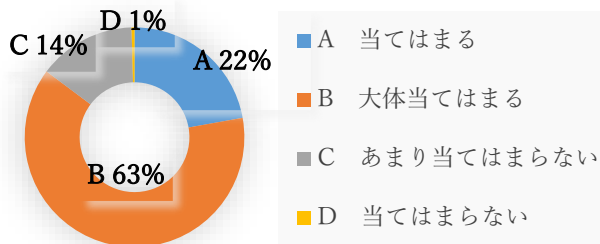
## 令和2年度 教育活動アンケート集計結果及び分析と考察

日頃より、本校の教育活動へのご理解・ご支援ありがとうございます。令和2年度の「教育活動アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、休校や学校行事の縮小・変更などいつもとは違う1年となりました。しかしそのような中でも、学校教育目標「たくましく なかよく」を掲げ、子どもたちのがんばる場を確保すべく、日々の教育活動に力を入れてきました。保護者の皆様にご記入頂いた教育活動アンケートや子どもたちに行った学校生活アンケートを参考に教育活動を振り返り、来年度へとつなげて参ります。

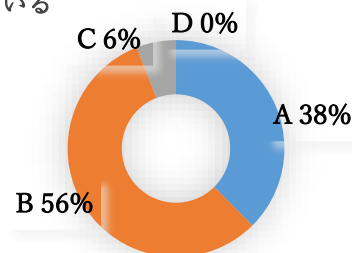
### 保護者アンケートの結果《学校生活》

A 当てはまる B 大体当てはまる C あまり当てはまらない D 当てはまらない

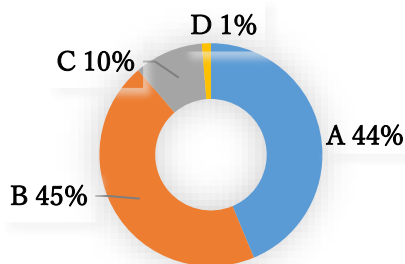
Q1 お子さんには、自分で判断してよりよい行動ができる力（たくましさ）が育ってきている



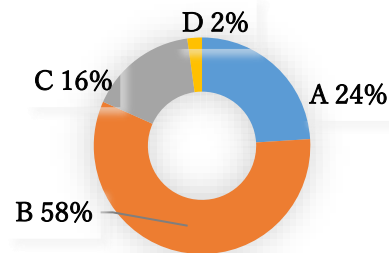
Q2 お子さんには、他を思いやる心や、友だちと協力する力（なかよく）が育ってきている



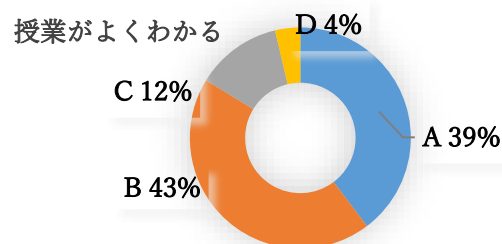
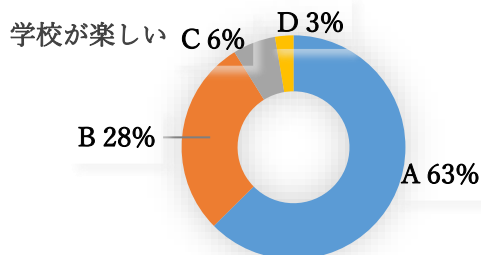
Q3 お子さんは、学校を楽しみにしている



Q4 お子さんは、学校の授業がよくわかっている

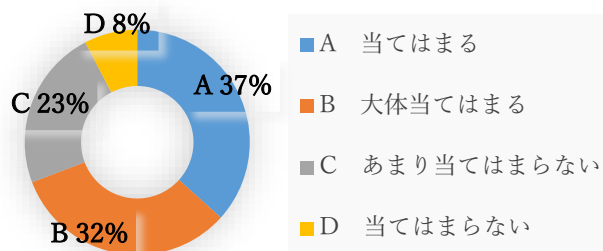


### 参考 児童 学校生活アンケート

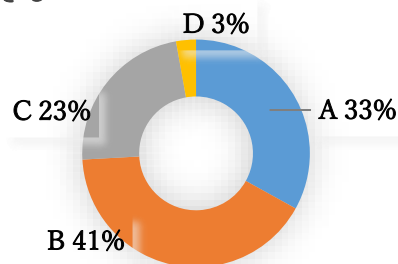


保護者アンケートと子どもたちの学校生活アンケートと比べてみると、どちらもA+Bのプラス評価がほぼ同じ割合でした。しかし、子どもたちの方がA評価の割合が高く、自信をもって「学校は楽しい」「授業はよくわかる」と言える子が多くいる、ということではないでしょうか。来年度も、子どもたちにとって楽しい学校、わかりやすい授業をめざしていきます。

Q5 お子さんは、読書活動（読み聞かせを含む）が好きだと思う



Q6 お子さんは、自分からあいさつができる



Q1（学校教育目標「たくましく」の育成）Q2（学校教育目標「なかよく」の育成）Q3（学校を楽しみにしている）Q4（学校の授業がよくわかる）は、8～9割をプラス傾向の回答が占めました。コロナ禍にあって新しい生活様式を意識しながらも、授業や行事を工夫して行い、子どもたちのがんばる場を保障してきたことが、このような評価につながったと考えます。

来年度は「苦手なものにも粘り強く取り組む」「自分の考えをもち、自ら正しい判断をする」といった「たくましさ」の育成をさらに意識していきたいと考えています

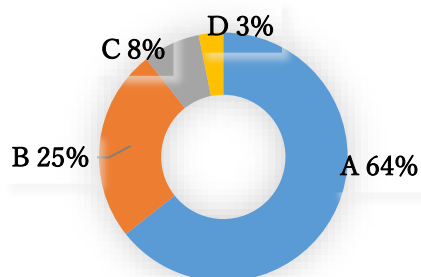
Q5（読書活動）は、昨年度よりもプラス評価が2ポイント減となりました。これは学校が、休校によって減ってしまった授業時数の確保のため、朝の読書活動を一時停止するという措置をとったり、コロナ対応として外部の方による読み聞かせを中止したり、といった読書に関わる活動を減らしてきたことにも関係するのではないかと思います。子どもたちの読書の機会が減ったことが、ご家庭にも伝わっているのではないのでしょうか。来年度は、例年通り読書活動にも力を入れていきます。

Q6（自分からあいさつできる）は、プラス傾向の回答が昨年度より1ポイント増となりました。地域や保護者の皆様の中から「気持ちの良いあいさつができる子がいる」と言っていただくことも増えました。しかし一方で、あいさつができる子とできない子の差が大きかったり、学校ではできるのに地域に出るとできない子がいたりする、といった課題も見えてきています。

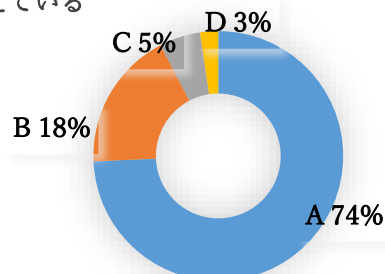
これからも「三方よし」の合い言葉のもと、あいさつ、そうじ、トイレのスリッパの整頓など具体的な例を挙げて、周囲を思いやる優しい心と正しい行動をやり通す強い心を育てていきます。

#### 参考 児童 学校生活アンケート

自分からあいさつができる



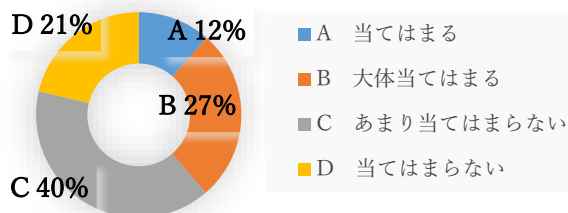
トイレから出るときには、スリッパをそろえている



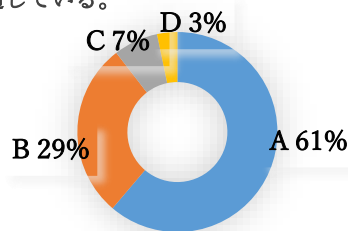
子どもたちの自己評価（プラス評価）は、昨年度からあいさつが88%→89%と2ポイント増、トイレのスリッパが89%→92%の3ポイント増で、昨年度とほぼ同じ水準です。しかしA評価だけを見ると、あいさつは昨年度より7ポイント増、トイレのスリッパは12ポイント増と大幅に伸びています。これは、ここ3年間、学校全体で取り組んできたことにより、「あいさつやトイレのスリッパの整頓をきちんとしている」と自信をもって言える子が多くなっている、ということだと考えます。これからもくり返しの指導を大切に、こうしたよさをさらに伸ばしていきたいです。

## 保護者アンケートの結果《道徳》

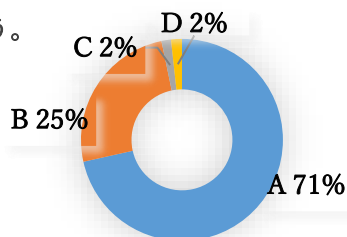
Q1 お子さんは、道徳の授業について、家で話をすることがある。



Q2 学校からの道徳だより『三方よし』に、目を通してしている。



Q3 お子さんにとって、道徳の授業は必要だと思う。



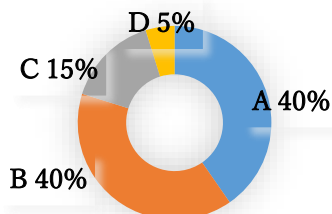
今年度、Q2（道徳だよりに目を通してしている）Q3（道徳の授業は必要だと思う）は、90%以上の高いプラス評価となりました。道徳だより『三方よし』については、「楽しみにしています」「家族で話をするきっかけになりました」というような意見が寄せられました。発行を担当する校長も、そうした保護者の皆さんからの声を励みにしています。

Q1（家庭で道徳を話題にしているか）に関しては、保護者の皆様からはA+Bが39%、子どもたちへの質問（道徳で勉強したことを家の人に話しているか）ではA+Bが47%と、プラス評価が高くありませんでした。これは「道徳だから」というよりも、年齢が上がるごとに学校の話を保険者にしなくなっていく、という子どもの成長による当然の表れだと思います。しかし、学校だけでなく、ご家庭の中でも道徳的な価値に触れる機会があるというのは、子どもたちの成長にとって大変意味のあることです。そのためにも、引き続き道徳だより『三方よし』での情報提供はもちろん、授業参観で道徳授業を公開したり、その授業に保護者の皆様に参加していただいたり、といった保護者の皆様との連携を図るための手立てをとっていききたいと思います。

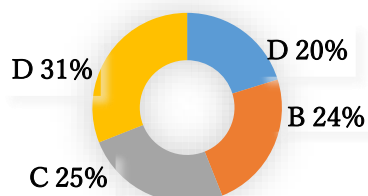
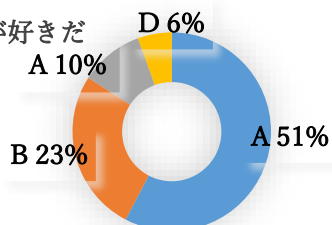
### 参考 児童 学校生活アンケート

### 道徳で勉強したことを、家の人に話している

道徳の勉強を、生活に生かそうとしている



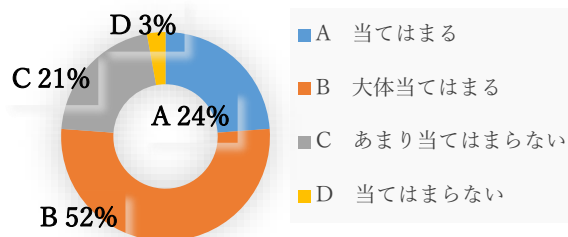
道徳が好きだ



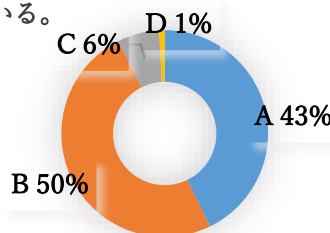
子どもたちに道徳について聞くと、「道徳が好き」の項目は、プラス評価が昨年と同じ74%でしたが、Aだけを見ると8ポイント増と大幅に伸びています。これは、継続して道徳に力を入れ、職員が工夫した授業を心がけてきたことにより、道徳が楽しい、おもしろいと感じる子が増えてきたということだと思います。道徳はどの子も活躍でき、そこで身につけた考える力をほかの教科に広げていくことができます。今後も中央小では、道徳に力を入れていきます。

## 保護者アンケートの結果《連携》

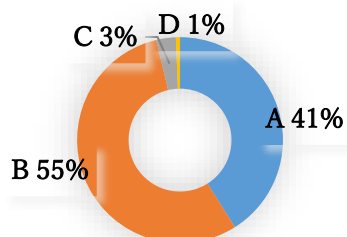
Q1 日頃の学校の様子や、お子さんの様子が学校から伝わっている。



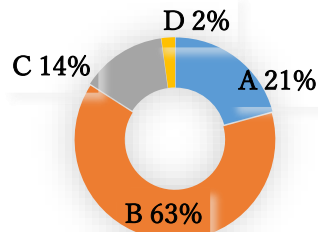
Q2 教育面談・教育相談の機会は、十分に確保されている。



Q3 学校の教育活動に保護者として満足している



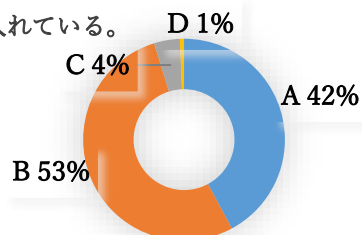
Q4 保護者として、学校の教育活動に協力している。



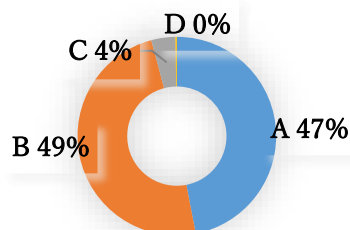
今年度は、新型コロナウイルスの影響により、保護者の皆さんが来校したり職員と顔を合わせたりする機会が激減しました。そのため例年に比べ、学校と家庭が連携を取ることが難しい状況となってしまいました。それでも、教育面談・教育相談の回数を昨年度より多くしたり、各担任が連絡帳や電話等を使いお子さんについての情報をお知らせしたりと、できる限りご家庭とつながっていけるよう努めてきました。この厳しい社会状況下での取り組みを、プラスに評価をしていただきありがとうございます。

## 保護者アンケートの結果《安全対策》

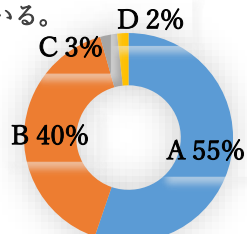
Q1 学校は、環境整備に努め、安全対策（施設面・新型コロナウイルス対策等）に力を入れている。



Q2 学校は、各種安全教育（防災・防犯・交通安全等）に力を入れている。



Q3 保健だよりやメール等、新型コロナウイルス対応に関する学校からの情報は、十分伝わっている。



学校の安全対策については、Q1（環境整備に努め、安全対策に力を入れている）Q2（安全教育に力を入れている）Q3（新型コロナの情報は十分伝わっている）のいずれも、A+Bが95%以上となっていました。特に新型コロナウイルス対応については、保護者の皆さんにも多くのご理解とご協力をいただいたおかげで、運動会、修学旅行、音楽会といった大きな行事を無事開催することができました。本当にありがとうございました。現時点では、コロナ禍の収束はまだ見えてきません。来年度も子どもたちの健康や安全に十分に配慮しながら、日々の学校生活や行事を大切に、子どもたちがズボンをはいてがんばる機会を守っていききたいと思います。

☆このお便りは、カラー版を藤枝中央小学校ホームページにて公開しています。グラフが見にくい場合には、そちらをご覧ください。